

デジタルワイレスインターカム TFT-2450 取扱説明書

Trademark

本書に記載されている各商標は登録済みです。本書に記載されている本製品の名称およびその他の商標は、各社の登録商標です

制約について

本書は著作権によって保護されています。どのような状況であっても、本書の一部または全体を複製、配布または変更するには、正式な認可が必要です。

免責事項について

(株)ティービーアイは取扱説明書の完全性および正確性について万全を期しておりますが、その内容について公式に保証するものではありません。この取扱説明書の使用およびその結果については、すべてユーザーが責任を負うことになります。

※設計および仕様は予告なく変更される場合があります。

ご使用前に

本製品には以下の付属品があります。お確かめください。

- ・ USB Type-Cケーブル 1本
- ・ 落下防止用ストラップ 1本

安全上のご注意

本製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害ならびに財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。記載事項をお守りください。

1. 本製品は精密機器扱いとなりますので、取り扱いには充分ご注意ください。故意的に破損した場合などは保証の対象外とさせていただきます。
2. 湿気・ほこりの多いところや火気の近くなどは避けるようお願いします。
3. 製品運用中に異臭及び機器に何らかの異常がみられる場合、他の機器に明らかに影響を及ぼしていると思われる場合は、ただちに機器の電源を停止し、お買い上げの販売店にご連絡をお願いします。
4. 異常に熱くなったり、異臭がしたり、煙が出たりした場合は、すぐにバッテリーを本体から抜いてください。
5. 直射日光のある場所、熱器具の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。故障の原因となります。
6. 修理・改造・分解はしない。火災・感電の原因となります。点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。
7. 内部に異物をいれないでください。

使用上のお願い

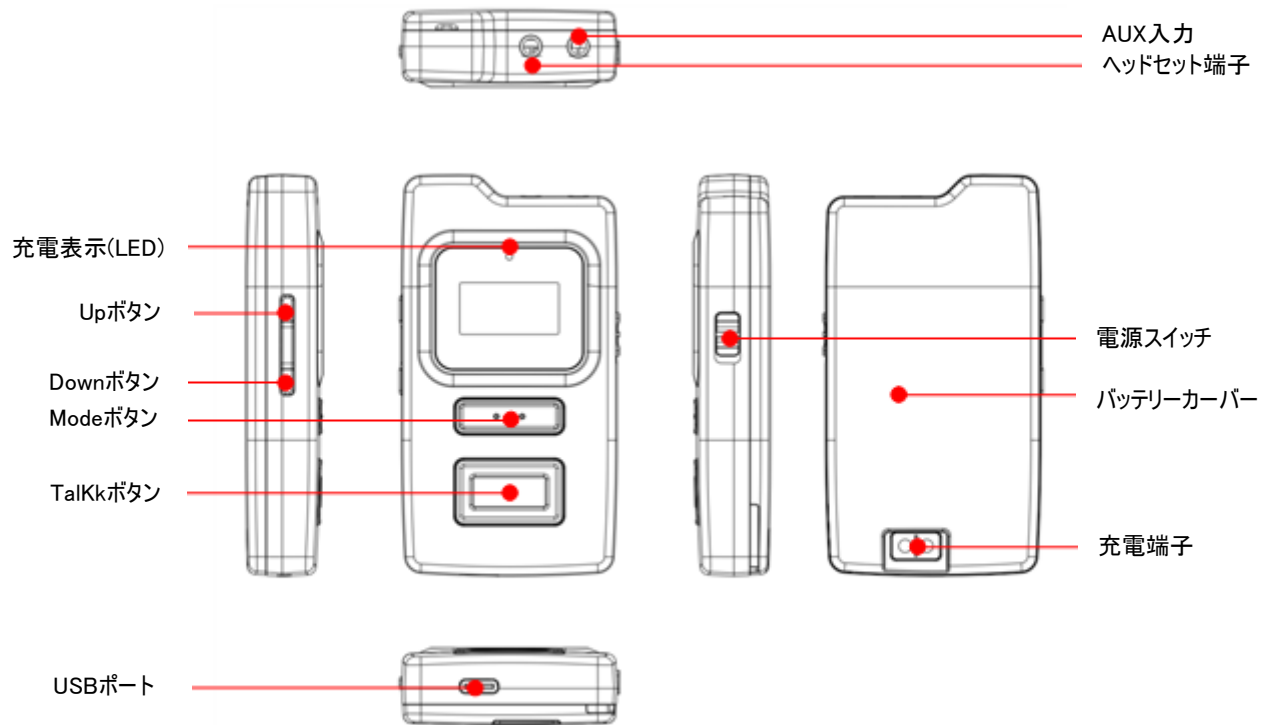
1. 本製品の分解や改造、修理などをご自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。故障時の保証の対象外となります。
2. 本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。
3. 本製品を次のようなところには置かないでください。
 - ・ 電子レンジの近くで湿気等が多いところ
 - ・ 磁場が発生するようなところ
 - ・ ほこりが多いところ
 - ・ 直射日光があたるところ
4. 殺虫剤や揮発性の物をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接続させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
5. 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
6. ふだん使用しないときは、電源を切っておいてください。
7. 長時間使用しないときは、機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。
8. 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など、温度が高くなる場所に置かないでください。故障の原因となります。
9. 結露がおきそうなときは、本体をすぐに使用せず、しばらく経過してからご使用ください。例えば、
 - ・ 本体を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
 - ・ 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき

- ・ 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
 - ・ 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき
10. 地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 11. 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
 12. 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 13. 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 14. デジタルワイヤレスインターカム本体（以下、本体）は、日本の電波法に基づく無線設備（無線LAN）を内蔵しています（技術基準適合証明品）。
 15. 動作時間が極端に短くなった場合は、バッテリー寿命と思われます。新しい専用のバッテリー（TFT-BT1）の準備をお願いします。
 16. 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く抜き取ってください。ペンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
 17. 本体に搭載されている無線設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
 18. 本体の無線設備が使用する周波数帯は2.4GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機をお使いになる際は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように留意してご使用ください。
 - ・ 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを、ご確認ください。
 - ・ 万一、本体から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用を停止してください。
 19. 周辺環境により使用距離が短くなる場合や長くなる場合があります。
 20. 落下や衝撃を受けると、製品が破損する可能性があります。
 21. 水に濡れると故障の原因になります。

目次

ご使用の前に.....	1
安全上のご注意.....	1
使用上のお願い.....	1
1. TFT-2450各部の名称.....	4
2. 機能説明.....	5
2-1.電源ON/OFF機能.....	5
2-2.ボリューム調整機能.....	5
2-3.TALK ON/OFF機能.....	5
2-4.グループ設定機能.....	5
2-5.ID設定機能.....	6
2-6.サイドトーン設定.....	6
2-7.Security Code設定.....	7
2-8.キーロック設定.....	7
3. 充電.....	8
3-1.本体の充電.....	8
4. バッテリーについて.....	8
4-1.取扱いについて.....	8
4-2.バッテリーの寿命並びに保管に関して.....	8
4-3.バッテリーのリサイクルについて.....	8
5. 仕様.....	9
6. 困った時及び故障かなと思ったら.....	9
7. その他.....	10
8. 製品保証とアフターサービス.....	10
8-1.保証期間.....	10
8-2.保証期間を過ぎている時は.....	10

1. TFT-2450各部の名称



項目	説明
電源スイッチ	上向：電源 ON 下向：電源 OFF
Mode ボタン	グループ、ID、サイドトーン、マイク[入力]、Security Code を設定するため、設定変更モードに入るとき使用します。
Up ボタン	ボリューム、グループ、ID など各々モードで設定値を上げます。
Down ボタン	ボリューム、グループ、ID など各々モードで設定値を下げます。
Talk ボタン	通話 On/Off
ヘッドセット端子	3.5mm ヘッドセット接続端子
AUX 入力	3.5mm 外部入力端子（音楽プレイヤーの出力を接続すると、音楽プレイヤーの出力を聞きながら、会話を行うことができます）
USB ポート	USB 接続端子、バッテリー充電及びファームウェアダウンロードに使用します。
充電表示 LED	充電時赤点灯、満充電時消灯（充電以外電源が ON になっている場合は青点滅）
充電端子	バッテリー充電用端子（専用充電クレードル用）

2. 機能説明

2-1. 電源ON/OFF機能

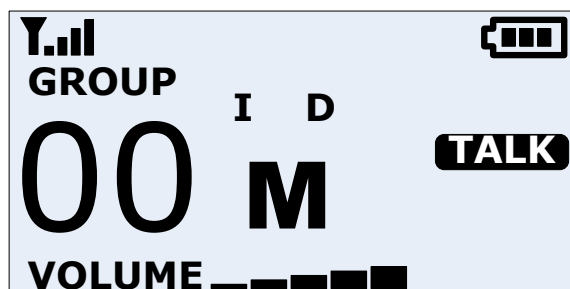
電源スイッチを利用して電源をON/OFFすることができます。

- 電源スイッチを上に出ると電源が入ります。
- 電源スイッチを下に出ると電源が切れます。

2-2. ボリューム調整機能

ボリューム設定機能を利用してユーザーが直接ボリューム調整できます。

- 端末機に電源を入れるとLCD画面下部にVolumeレベルが表示されます。
- 端末機左側面のUP/DOWNボタンを押して希望のボリューム調整をします。
- ボリュームは0 ～ 8まで設定できます。
※ 0 (ボリューム縦棒がない状態)はMUTEです。



2-3. TALK ON/OFF機能

Talkボタンを利用して通話On/Offが可能です。

- 端末機に電源を入れます。
- Master端末の電源を入れると直ぐTalkが有効になります。LCD画面に「TALK」が表示されたらTALKボタンを利用して通話機能をOn/Offすることができます。
- 同一グループのID”01”～”99”端末はMaster端末と同期化されるとTALKが有効になります。TALKボタンを利用して通話機能をOn/Offすることができます。
- 同一グループのID”L”端末はMaster端末と同期化されてもTALKが有効になりません。通話機能が使えません。

2-4. グループ設定機能

グループ設定機能を利用してユーザーが直接グループを変更して使用することができます。

※ 各端末が通信するためにはGROUPとSecurity Codeが一致する必要があります。

※ ModeボタンによってSetting Mode画面に変更されると無線通信機能は動作しません。

- 端末機に電源を入れます。
- Modeボタンを約1秒押すと設定モードに入りLCD画面が<Setting Mode>に変わります。
- 端末機左側面のUP/DOWNボタンを押して希望のGroupを設定します。
- Groupは00 ～ 39まで設定することができます。

<Setting Mode>

1.GROUP 00

- 設定完了はModeボタンを約1秒押します。

2-5. ID設定機能

ID設定機能を利用してユーザーが直接IDを変更して使用することができます。

※ 同一グループ内にIDを”M”に設定したマスター端末が必ず1つが必要です。

- 端末機に電源を入れます。
- Modeボタンを約1秒押すと設定モードに入りLCD画面が<Setting Mode>に変わります。
- Modeボタンを押してID設定メニューに移動します。
- 端末機左側面のUP/DOWNボタンを押して希望のIDを設定します。
- IDは”M”、“01”～”99”、“L”が設定できます。
 - － IDがMの場合はMasterに設定されます。
(グループ内で1つのみになる必要があります。)
 - － IDが”01”～”99”の場合は固定チャンネルを割り当てられるSlaveに各々設定されます。
(グループ内で互いに重ならないように設定する必要があります。)
 - － IDが”L”の場合は受信専用のSlaveに設定されます。
(グループ内で複数台を”L”に設定することができます。)

<Setting Mode>

2.ID 00

- 設定完了はModeボタンを約1秒押します。

2-6. サイドトーン設定

サイドトーン設定機能を利用してサイドトーンのON/OFFができます。

- 端末機に電源を入れます。
- Modeボタンを約1秒押すと設定モードに入りLCD画面が<Setting Mode>に変わります。
- Modeボタンを2回押してサイドトーン設定メニューに移動します。
- 端末機左側面のUP/DOWNボタンを押してサイドトーンのON/OFFを設定します。

<Setting Mode>

3.SIDE TONE ON

- 設定完了はModeボタンを約1秒押します。

2-7. Security Code設定

Security Code設定機能を利用して追加セキュリティ設定ができます。

※ 各端末が通信するためにはGROUPとSecurity Codeが一致する必要があります。

- 端末機に電源を入れます。
- Modeボタンを約1秒押すと設定モードに入りLCD画面が<Setting Mode>に変わります。
- Modeボタンを4回押してSEC CODE設定メニューに移動します。
- 端末機左側面のUP/DOWNボタンを押してSecurity Codeの変更ができます。
- Security Codeは4桁になって0～9、A、B、C、D、E、Fまで設定できます。
- Security Codeは一桁ずつ設定ができ、桁を移動する場合はModeボタンを短く押します。

<Setting Mode>

5.SEC CODE 0000

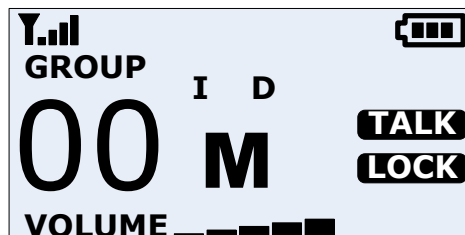
- 設定完了はModeボタンを約1秒押します。

2-8. キーロック設定

キーロック設定機能を利用してボタン操作の間違いを防止します。

※ TALK状態でLOCKすると、マイクのPTT(Push To Talk)ボタン操作なしで会話ができるようになります。

- 端末機に電源を入れます。
- ModeボタンとTALKボタンを一緒に約2秒押すとキーロックになります。
- キーロック状態でModeボタンとTALKボタンを一緒に約2秒押すとロックが解除されます。



3. 充電

充電器TDP-BTC3(別売)にて、本体を充電してください。

3-1. 本体の充電

バッテリーを装着したまま本体下部にあるUSBポートに充電器のUSBケーブルを差し込んでください。

LEDが赤色に点灯し充電が開始され、充電完了すると消灯します。

4. バッテリーについて

4-1. 取扱いについて

- バッテリーパックを火中に投じないこと。電解液の有機溶媒が勢いよく燃焼したり、破裂する原因となり非常に危険です。
- バッテリーパックを加熱しないこと。電解液が沸騰したり、樹脂部品が溶融して、漏液、破裂、発火の原因となります。
- バッテリーパックを分解しないこと。組み込まれている保護機構や制御回路が壊れるおそれがあり、分解中に電池がショートしたりする原因になり非常に危険です。
- バッテリーパックを他の金属類に接触させないこと。ショートして火災の原因になります。
- 釘を刺したりして穴を開けないこと。バッテリーパックに釘を刺したりすると、電池内部がショートして、その結果急激な発熱により、漏液、破裂、発火の原因となります。
- 中の液が漏れ出たときは、触れた可能性のある個所を水で十分に洗い流してください。液のついた衣類は洗剤ですぐに洗濯してください。症状があらわれたときは医者診察を受けてください。
- バッテリーパックの取り扱いでは濡れた手での作業は感電や火災の原因になります。
- バッテリーパックが膨らんだり、落下による外傷や変形が見られた場合は直ちに使用を中止し、新しいバッテリーパックに交換してください。

4-2. バッテリーの寿命並びに保管に関して

- バッテリーは消耗品となり、通常の使用で500回の充電を超えたバッテリーは交換してください。
- 未使用状態で充電器に挿したまま、もしくは挿していない状態においても、製品の特性上、自然放電します。このため長期間放置するとバッテリーの膨張や過放電状態となり性能が著しく低下し、使用できなくなることがあります。
- 長期使用及び保管が原因でのバッテリーの性能劣化は、製品保証の対象外となります。

4-3. バッテリーのリサイクルについて

- 本体にはバッテリーパックが装着されています。不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のために必ず金属端子部にテープ等を貼って絶縁してください。
- 以下より、リサイクル協力店の検索を行なうと、全国各地のリサイクル協力店が簡単に見つかります。
一般社団法人JBRC ホームページ <http://www.jbrc.com>

5. 仕様

機能	仕様
無線周波数帯	2407～2476MHz
周波数変調方式	周波数ホッピング方式(FH方式)
空中線電力	2mW/MHz
音声コーデック	16bit/8KHz
受信感度	-95dBm
アンテナ	内蔵チップアンテナ
バッテリー	リチウムポリマーバッテリー(Li-Polymer) @3.7V/ 1200mA
バッテリー充電時間	約6時間
使用時間	待機時、15時間 連続トークモード時、10時間
使用範囲	約100m(壁など電波障害物がない環境)
最大同時通話	6人(Master端末を含む)
受信専用モード端末接続数	制限なし
グループ数	40グループ(00 ～ 39)
動作環境温度	℃～℃
サイズ(W x D x H)	50 x 93 x 17.9mm
質量	75g(電池含む)

6. 困った時及び故障かなと思ったら

● 動作異常の場合

- ①電源がONの状態なのかをご確認ください。
- ②バッテリーの残量を確認してください。充電の必要があれば充電するか、バッテリーを交換してください。
 - バッテリーは消耗品となり、通常の使用で500回の充電を超えたバッテリーは交換が必要です。
 - バッテリーはその特性上、使用しない状態において自然放電します。このため長期間放置するとバッテリーの膨張や過放電状態となり性能が著しく低下し、使用できなくなることがあります。
 - 長期使用及び保管が原因でのバッテリーの性能劣化は、製品保証の対象外となります。

● 受信音が聞こえない場合

- ①端末同士が同一グループになっているかをご確認ください。
- ②同一グループでSecurity Codeが一致するかをご確認ください。
- ③使用中のグループの端末の中に「MASTER端末(ID=00)」があるかをご確認ください。
- ④端末のボリューム状態をご確認ください。
- ⑤ヘッドセット端子の接続状態をご確認ください。

● ノイズがひどい場合

- ①端末の電波を妨害する機器(電子レンジ、洗濯機等)から離して使用してください。
- ②バッテリーの残量がないことがありますので、充電後にご利用ください。
- ③混線がひどい場合は他のグループに変更してご利用ください。

7. その他

意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは異なります。

8. 製品保証とアフターサービス

「故障かなと思ったら」をご覧ください。なお異常のあるときは、使用を中止してください。

8-1. 保証期間

お買い上げ日から1年間です。ただし、特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。

8-2. 保証期間を過ぎている時は

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。この場合、技術料（故障した商品を正常に修復するための料金）と、部品代（修理に使用した部品の代金）が発生します。

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、購入した代理店にお申し付けください。



株式会社ティービーアイ
〒104-0031
京都中央区京橋2-2-1
京橋エドグラン 28F

■修理・操作説明連絡先
受付時間 09:00～12:00/13:00～17:00
(土日、祝日/年末年始を除く)
フリーダイヤル
0120-065-011
ホームページアドレス
<http://www.clearstalkcom.net>